

平成21年度 太田中学校の学校評価について報告します。

	評価項目	4段階の評価	教職員による自己評価のまとめと改善方策	学校関係者による評価や意見等
1	信頼される学校に関する事 (開かれた学校、教職員の資質向上等)	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・1年の宿泊学習の実施時期によって、地域との交流学習の実施を見直す必要がある。2年での実施も検討していく。 ・家庭連絡等では、保護者の対応に温度差があり、状況に応じた適切な対応に心がける必要がある。 ・個人懇談会の持ち方として、1回目は、中間テストの結果が出た後の6月末に学習面や生活面についての話し合い、2回目は、1学期末の10月上旬に通知票を渡して話し合うのがよく、保護者や教員の意見を集約して今後の持ち方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 信頼される学校 ・太田中生は地域との関わりが少ないが、転勤族が多いためかわること自体が難しいのではないかな。 ・小学校でも子ども会への参加が難しい状況であり、校区内での子ども数にもばらつきがある。そのため、餅つき等を実施して子ども全体との交流の機会を持つようしている。 ・地区の文化祭に参加している生徒の家族が参観に来てくれるが、子どもたちの参加数を増やす努力も必要である。
2	確かな学力と主体的な学びを生む場の実現に関する事	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の総合的な学習の時間については、指導時間の確保が大変な上、宿泊学習もあるため内容の精選に加え、計画的な実施が必要である。また、1年は宿泊学習、2年は職場体験というように重点項目を決めて、交流学習や人権学習などをそれに絡めた指導を行うのがよいのではないかな。 ・図書室前等に進路コーナーを設置して高校関係の資料を置くことで、1・2年生への啓発、意識付けに役立てる。 ・文化祭のような形などで学習発表の場を設けても良く、検討をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力と主体的な学びを生む場 ・中学校で学力が伸びてきている様子が感じられる。また、あいさつもきちんとできている。 ・保護者として学習指導をもっとしてほしいとの意向はある。 ・家庭での手伝いでは、家庭科の宿題で掃除があればありがたい。 ・授業に対する意識調査の結果がいい。先生と生徒とのコミュニケーションがとれている事がうかがえて素晴らしい。
3	少人数指導(少人数学級)に関する事	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導は、生徒や保護者から良い評価を得ている。他の学年でも実施できれば良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実 ・来校したらよくあいさつしてくれるのは1つの成果ではないかな。
4	道徳教育の充実に関する事	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・学年団で統一して取り組んでいるが、指導後の情報交換の時間が確保できていない。 ・道徳の資料収集に努力し、団で統一して実践できているが、「道徳の日」の朝の時間の取り組みは十分でない。そこで「道徳の日」の朝の読書は読み物資料を読んだり、道徳ドキュメント(NHK)を活用したりするもの良いのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館の充実 ・図書貸出冊数は、かなり増えている。できれば、保護者への貸出は出来ないかな。学校として可能な範囲(生徒が借りる形)で対応している。 ・小学校ではPTA対象の図書がある。家庭環境によって差が出ている。家庭での取り組みも必要なのではないかな。小学校の取り組みを継続して生かしていきたい。
5	時代の変化に対応した教育に関する事			<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導 ・夜になって街灯が少ない所があり、増やすための働きかけをしていくためにも、一度点検してみてもどうか。また、家の門灯をつける運動などをしてはどうか。 ・落ち着いた雰囲気です学校生活できているのがよく分かる。
6	学校図書館教育に関する事	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用している生徒が昨年度に比べ増加しており、1月末で6000冊の貸出数になっている。只、利用が多くなるにつれ本の紛失も多く、マナー指導の徹底を図る必要がある。 ・朝読書はどのクラスも静かに行われていて、今後是非継続していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザによる欠席状況等はどうかであったか。多く学級が閉鎖となった。また、予定していた交流学習も、授業補充のために実施できなかったが、次年度に実施の予定である。
7	自己指導能力を育てる生徒指導に関する事	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動の時間では、生徒会や行事との関連を考慮して年間計画の精選を図る必要がある。 ・生徒会活動では、生徒会役員たちがしっかり頑張っており、生徒会新聞も充実している。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育 ・保護司として学校との連携をしていく必要があるが、組織的なものがない。何かあれば連絡してほしい。「社会を明るくする運動」で作文募集があり、弁論大会への参加など協力したい。
8	人権教育に関する事	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中での生徒の気になる言動についてはしっかりと指導していく必要がある。また、差別的な用語を使用している場合、個人指導だけでなく全体指導も大切である。 ・県や四国の研究会に向け、学校全体での取り組みを進めていく必要がある。特に、生徒会と人権学習との関連も図る必要がある。 	
9	健康・安全教育に関する事	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・新型インフルエンザの大流行を経験して、生徒自身が健康管理の重要性を知ることができた点よかった。 ・不登校傾向を示す生徒が在籍する学級の担任と教育相談担当者との話し合いを、空き時間などを利用して臨機応変に確保していく。また、スクールカウンセラーとの連携は今後も継続していく必要がある。 ・交通安全についての意識を向上させるために、DVDを視聴させたり、交通委員会(新設)を活用することが必要である。 	
10	特別支援教育に関する事	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育についての教員の意識が向上してきた。ただ、教科部会で関わり方を協議する機会を定期的に設ける必要がある。 ・次年度、特別支援学級生徒も増加する。たくさんの先生方からの支援を得て助かっているが、色々な面において不安なところもある。 	
11	その他(特色ある教育など)	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・各部活動とも生徒は熱心に活動できており体力向上等に寄与している。尚、体育館利用の調整は、掲示板を活用して事前の活用状況を把握できるようにしていくとよい。 	